

出羽商工会景況調査報告

[調査要領]

調査対象 : 出羽商工会地域の企業 100 社 (製造業 24、建設業 24、小売業 26、サービス業 26)
調査時点 : 令和 6 年 6 月 (1 期)・9 月 (2 期) ※1 期 (4-6 月) 2 期 (7-9 月)、3 期 (10-12 月)、4 期 (1-3 月)
調査方法 : 企業へ調査表記入依頼及びヒアリング

※D. I とは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で以下により算出しており、将来の景気の方角性を値で表している。
D. I. = 【各項目の増加 (上昇・好転) 企業割合 (%)】 - 【各項目の減少 (低下・悪化) 企業割合 (%)】

【全体】

- ・4-6 月期は、定額減税が実施されたこともあり、全体 D I は過去 3 年の中で最も好転した。3 月にマイナス金利を終了したことに伴い、販売価格の見直しや人流が活性化し全業種で上昇した。
- ・対して、7-9 月期は、サービス業以外下落傾向にある。世界情勢の動向、物価高や、円安など、中小企業の先行きへの警戒感は続いている。

【製造業】

- ・第 4 期と第 1 期と比較すると好転がみられた。特に機械部品製造以外の業種で好転した結果となった。
- ・一転、第 2 期は原材料価格の上昇、経済活動の停滞により若干下落した。

【建設業】

- ・建設業については、前期に暖冬の影響を受け除雪等に関する仕事量が減少し下落したが、第 1 期は-18.2P で持ち直した。
- ・第 2 期は-18.2P から-16.6P と若干持ち直し足踏み感がうかがえる。
- ・第 2 期時点、7 月下旬の大雨の影響により災害復旧工事が発注される期待感は感じられる結果となった。

【小売業】

- ・第 4 期と比較し第 1 期は -45.0P から -9.1P へ上昇傾向にあり、鶴岡市の消費喚起クーポン券事業の効果により小売業の消費が活発化された。
- ・第 2 期は一転して全業種の中で一番大きく下落した。

【サービス業】

- ・第 1 期は第 4 期から大幅に上昇し、理美容関係は大きな変動はなかったものの、人流が活発化され鶴岡市の消費喚起クーポン券事業の効果により飲食、宿泊業が好調であった。
- ・全業種中、第 1 期、第 2 期ともにサービス業のみ上昇しており交流人口の増加によるものと考えられる。

6 月調査 前期 (1 月 - 3 月) と比べて今期 (4 月 - 6 月) の業況は						9 月調査 前期 (4 月 - 6 月) と比べて今期 (7 月 - 9 月) の業況は					
区分	製造業	建設業	小売業	サービス	全体	区分	製造業	建設業	小売業	サービス	全体
好転 A	18.2	4.5	27.3	19.0	18.2	好転 A	5.6	4.2	10.0	33.3	15.2
不変 B	45.5	72.7	36.4	71.4	53.4	不変 B	66.7	75.0	45.0	45.8	51.1
悪化 C	36.4	22.7	36.4	9.5	28.4	悪化 C	27.8	20.8	45.0	20.8	33.7
DI (A-C)	-18.2	-18.2	-9.1	9.5	-10.2	DI (A-C)	-22.2	-16.6	-35.0	12.5	-18.5

景況判断「D I」全業種及び業種ごとの推移

